

名古屋大学≪環境学研究科・講師≫公募要領

1	募 集 件 名	講師（女性限定）の公募	
2	所 属	大学院環境学研究科地球環境科学専攻（大気水圏科学系）物質循環科学講座	
3	募 集 内 容	<p>[職務内容（業務内容、担当科目等）]</p> <p><業務内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物質循環科学分野の教育研究 <p><担当科目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境学研究科や兼務する学部が開講する専門分野の関連科目と全学教育科目 <hr/> <p>[勤務地] 愛知県名古屋市千種区</p> <hr/> <p>[募集人員] 講師・1名</p> <hr/> <p>[着任時期] 2022年7月1日以降</p>	
4	募 集 研 究 分 野	大分類	環境学, 数物系科学
		小分類	環境解析学, 地球惑星科学
5	勤 務 形 態	常勤 任期なし	
6	応 募 資 格	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性限定 2. 地球環境科学に関する研究, とくに大気・海洋・陸域環境の現状の理解や, その変動メカニズムの解明などに資する研究に実績を有し, かつ地球規模の環境問題の解明や解決に意欲を持つこと. 3. 博士の学位を持ち, 先進的な手法を用いて, フィールド観測に根ざした教育・研究を推進できること. 4. 当研究科の教員と連携し, 環境学における新分野の創出や分野横断型研究の推進に貢献できること. 5. 次世代の研究者・高度専門職業人の育成に意欲を持ち, 長期的な視点に立った大学院教育および大学教育に意欲を持つこと. 6. 環境学研究科や兼務する学部が推進する活動に貢献する意欲を持つこと. 7. 教育・研究指導を日本語で行える能力を持つこと. ただし, 応募時点でその能力がなくても, 着任後3年程度でそのレベルに達する見込みがあれば, 応募資格を認める. 	
7	待 遇	<p>[採用後の待遇（給与, 勤務時間, 休日, 雇用期間, 保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋大学職員就業規則の定めるところによる. ・ 給与は本学において定める年俸制とする. 	
8	応 募 期 間	2022年2月5日～2022年4月11日	
9	応 募 方 法 選 考 内 容	<p>[応募方法]</p> <p><応募書類></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 履歴書（任意書式）：A4判に, 氏名と性別, 生年月日, 現住所と勤務先, 連絡先, 学歴と職歴, 学位, ResearcherID*を記載してください. 連絡先は電話番号やEメールアドレスを含みます. (2) これまでの研究の概要（任意書式）：A4判2頁程度 (3) 着任後の教育・研究の計画と抱負（任意書式）：A4判2頁程度 (4) 研究業績リスト（任意書式）：和文のものは和文で表記すること <ol style="list-style-type: none"> A. 査読のある原著論文 B. 総説, 解説, 報告（査読の有無を記すこと） C. 著書 	

		<p>※年代の古い順から記載し、A～Cで連続した通し番号を付してください。</p> <p>※Aの原著論文については、可能な限り「web of science」のCitation Index (CI)も記載してください。また、主著者（筆頭著者）ではないが、責任著者（corresponding author）となっているものについては○印を、国際共著論文（海外大学・機関との共著論文）には*印を付してください。</p> <p>(5) 科学研究費補助金等の外部資金の獲得状況（任意書式）：科研費とその他に分け、研究代表者・分担者の別、獲得金額を総額・直接経費の別と共に記載してください。</p> <p>(6) 国内外の学会活動，受賞歴，招待講演・基調講演，社会連携，その他特記事項（任意書式）</p> <p>(7) 主な論文の別刷3編（PDF）</p> <p>(8) 応募者に関する所見を伺える方の氏名と連絡先（電話番号，Eメールアドレス）（任意書式）</p> <p>(9) 特定類型該当性の自己申告書**</p> <p>*ResearcherIDは被引用件数やh-indexなど，研究業績の確認に使用します。Web of Science ResearcherIDを未取得の場合は，以下のPublonsサイトにアクセスし，Registerボタンをクリックしてアカウント登録を行ってください。すでにResearcherIDをおもちの場合は，新規登録は行わないでください。</p> <p>Publonsサイト：https://publons.com/account/login/</p> <p>新規登録された場合，Publons上でご自身の論文の登録を行って頂くことで，Publons登録時に設定されたメールアドレス宛てにResearcherIDが通知されます（論文追加後，1-3営業日以内）。</p> <p>論文情報の登録方法は以下を参考にさせていただきます：</p> <p>https://support.clarivate.com/ScientificandAcademicResearch/s/article/000011098?language=ja</p> <p>**2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い，大学・研究機関における教職員の機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い，教職員として本学に応募される際，「類型該当判断のフローチャート」に基づく「特定類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。特定類型該当性の自己申告書は以下からDLしてください。</p> <p>https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/He8K2MrHikNsdfA</p> <p><応募書類提出方法></p> <p>上記（1）～（9）の電子ファイルを添付書類として末尾の問い合わせ先に記載の電子メールアドレスへ送信のこと。なお添付書類で送信出来ない場合は，同じく問い合わせ先にお知らせ下さい（専用のファイル共有サービスのURLをお知らせいたします）。</p>
		<p>[選考内容（選考方法，採否の決定）]</p> <p>応募者の中から書類に基づいて候補者を選びます。必要に応じて，面接の実施や追加的書類の提出を求めることがあります。面接については候補者に直接連絡します。</p>
10	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて英語による教育指導ができることを期待します。 ・提出された書類については，本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は，本選考委員会が責任を持って処分し，返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・関連ホームページ <ul style="list-style-type: none"> 環境学研究科：http://www.env.nagoya-u.ac.jp/ 地球環境科学専攻：http://ees.env.nagoya-u.ac.jp/ 大気水圏科学系：http://has.env.nagoya-u.ac.jp/ ・応募に関する問い合わせ先 <ul style="list-style-type: none"> 物質循環科学講座講師候補者選考委員会委員長 角皆 潤 (E-mail: urumu@nagoya-u.jp) 件名は「物質循環科学講座の講師公募について」としてください。